

演習計画書

2020年度模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習

がん患者とのコミュニケーションの問題点・オンコロジーチームの課題を各職種の立場から議論し、SPを用いたロールプレイを行うことで、がん患者とのより良いコミュニケーションを築くために必要なスキルを習得し、がん診療におけるチーム医療のあるべき姿を学習する。

1. 到達目標

- ①がん診療におけるチーム医療の現状の課題や必要性を理解しチームの理想像を展望する
- ②がん診療におけるコミュニケーションスキルの重要性を理解し習得する
- ③がん患者のニーズに沿った治療や、がんゲノム医療などの最新医療を提供するための
 - ・オンコロジーチームにおけるがん診療医師の役割と機能を理解する
 - ・オンコロジーチームにおけるがん看護専門看護師の役割と機能を理解する
 - ・オンコロジーチームにおけるがん専門薬剤師の役割と機能を理解する
 - ・オンコロジーチームにおける遺伝カウンセラーの役割と機能を理解する
 - ・オンコロジーチームにおける放射線技師の役割を理解する

2. 日時

- ・演習1日目 2020年9月12日(土) 午前10時15分～午後17時00分頃
- ・演習2日目 2020年9月13日(日) 午前10時00分～午後15時30分頃

3. 場所 ZoomでのWEB開催

4. 本演習の従来での開催条件

- ・緊急事態宣言の解除、全員マスク着用、模擬患者さんの同意等
- ・3密を避けられる広さ(大講義室など)での開扉・換気
- ・参加者(大学院生、教員、SP)の感染予防
(SPさんには別途個室を準備またはご自宅からZoomなどでのロールプレイの実施)

4. WEB開催の実施方法

- 1、2グループを設定:【 医師:1名、看護師2~3名、遺伝カウンセラー2~3名、薬剤師1名 】×2
- 2、講演:Live配信またはMoodleによる音声付きスライドでの受講
- 3、他己紹介・グループ討論・全体討論はZoomによるWEB Meeting方式。
- 4、ロールプレイはWeb Meeting方式。

SPさんに依頼または教員が患者役(ロールプレイの実施時間は従来通り18分?)

<事前学習>

1: 今回のシナリオは緩和治療の説明や遺伝子検査及びその結果の説明などです。治療や方針の意思決定において、各職種がどのようにかわるのが良いか、また、各職種でのコミュニケーションの特徴、強み、弱みを考え、如何にして多職種でチームワークできるかを事前に検討してください。

- ・事前学習用紙 A4 1枚配布（記載はこれに準じていれば word での作成でも結構です）

- ・1日目に多職種で討論予定

- ・推薦図書「がん医療におけるコミュニケーションスキル」出版医：医学書院 編集：内富 庸介

2: Zoomで「がんゲノム医療～東北大学病院での取り組み～」を視聴後、ディスカッションを行う。

<事後学習>（学生レポート作成・提出）

がんチーム医療における課題と模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習から学んだことA4一枚程度でレポートを作成ください。※各大学の事務担当者へ2020年10月30日までにご提出ください。